

情報連絡員総括表（2020年12月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. **中央会・行政への要望**
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○ 2020年12月のDI値は、前月との比較において「雇用人員」が改善、それ以外の8指標が悪化する結果となった。

「業界の景況」について、7月に-85.0まで数値を落とし、8、9、10月には-45.0まで回復したものの、11月には再度数値を落とし、今月は更に悪化した。「売上高」「業界の景況」が-50.0以下になるのは3ヶ月ぶり。

新型コロナウイルスの影響で、来年度の事業計画、収支予算の立案や総会等の開催方法について苦慮するコメントが寄せられた。

○「製造業」では、前月との比較において「販売価格」「雇用人員」が改善、「取引条件」「収益状況」「資金繰り」が横ばい、それ以外の「売上高」「業界の景況」を含めた4指標が悪化する結果となった。

一部の業種では改善傾向であるとの声が寄せられているものの、新型コロナウイルスの収束目途が立たないことから、先行きを不安視するコメントが多い。

○「非製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」「雇用人員」が改善、それ以外の6指標が悪化する結果となった。

「Go To トラベル」「Go To イート」の一時停止が、各業界に影響を与えている。1月8日～2月7日までの「緊急事態宣言」の影響を危惧する声も聞かれる。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2020年12月	-53.3	-9.3	-21.7	-26.6	-45.0	-28.3	-43.3	-10.0	-58.3
2020年11月	-33.3	-16.3	-18.3	-21.7	-38.3	-23.4	-40.0	-13.3	-50.0
増減	-20.0 ↓	7.0 ↓	-3.4 ↓	-4.9 ↓	-6.7 ↓	-4.9 ↓	-3.3 ↓	3.3 ↑	-8.3 ↓

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2020年12月	-56.7	-10.0	ポイント	↓	-50.0	-30.0	ポイント	↓	-53.3	-20.0	ポイント	↓
	2020年11月	-46.7				-20.0				-33.3			
在庫数量	2020年12月	3.3	13.3	ポイント	↓	-38.5	-7.7	ポイント	↑	-9.3	7.0	ポイント	↓
	2020年11月	-10.0				-30.8				-16.3			
販売価格	2020年12月	-10.0	13.3	ポイント	↑	-33.3	-20.0	ポイント	↓	-21.7	-3.4	ポイント	↓
	2020年11月	-23.3				-13.3				-18.3			
取引条件	2020年12月	-26.7	0.0	ポイント	-	-26.7	-10.1	ポイント	↓	-26.6	-4.9	ポイント	↓
	2020年11月	-26.7				-16.6				-21.7			
収益状況	2020年12月	-50.0	0.0	ポイント	-	-40.0	-13.3	ポイント	↓	-45.0	-6.7	ポイント	↓
	2020年11月	-50.0				-26.7				-38.3			
資金繰り	2020年12月	-30.0	0.0	ポイント	-	-26.7	-10.0	ポイント	↓	-28.3	-4.9	ポイント	↓
	2020年11月	-30.0				-16.7				-23.4			
設備操業度	2020年12月	-43.3	-3.3	ポイント	↓					-43.3	-3.3	ポイント	↓
	2020年11月	-40.0								-40.0			
雇用人員	2020年12月	-6.7	3.3	ポイント	↑	-13.4	3.3	ポイント	↑	-10.0	3.3	ポイント	↑
	2020年11月	-10.0				-16.7				-13.3			
業界の景況	2020年12月	-66.6	-3.3	ポイント	↓	-50.0	-13.4	ポイント	↓	-58.3	-8.3	ポイント	↓
	2020年11月	-63.3				-36.6				-50.0			

今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
食料品	0	3	2	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	3
繊維工業	0	2	1	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2
木材・木製品	0	3	1	1	1	0	0	1	1	3	0	1	0	2	0	1	0	4
紙・紙加工品	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
窯業・土石製品	0	3	1	0	0	0	0	1	0	3	0	1	0	2	0	1	0	3
鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	0	0	2
一般機器	0	4	0	1	0	2	0	2	0	4	0	4	0	4	0	1	0	4
電気機器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0
輸送用機器	2	2	1	2	0	1	0	2	1	2	1	2	2	1	1	0	2	2
その他	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
卸売業	0	3	0	1	0	1	0	1	0	3	0	1	X					
小売業	0	4	0	3	0	2	0	2	0	4	0	4						
商店街	0	5	0	1	1	2	0	1	0	4	0	2						
サービス業	2	2	X		0	2	0	1	2	2	2	1						
建設業	1	2			0	4	0	3	0	2	0	2						
運輸業	0	2	X		1	1	1	1	2	1	1	1						

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響で、港近隣の観光関連販売先の営業不振が続いている。今年も依然として続く新型コロナウイルスの影響に不安を抱いている。 ・ 原料の集荷量が減少傾向にあるが在庫品の販売に注力した結果、売上高は対前年同月で下げ幅1割以下を維持し、生産量が減少する事で工場設備のランニングコストが軽減された。両要因で利益を出す事が出来たが、年明けの在庫が不足する可能性もあり楽観視は出来ない状況にある。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、新型コロナウイルスの影響が表面化し、アパレル業界の不振に伴い休業、廃業などの工場が出てくる可能性がある。 ・ 先月同様新しく好転出来る情報は無い。組合員個々で少しずつ新しい動きはあるが具体的にまだまだ成果には至っておらずまだまだ低迷は続くと思われる。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今月は売上げの前年同月比が8%増となった。展示会等への出展が影響したと思われる。
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業界の実情を反映する出来事として、組合員17社中2社が製材を今年廃業した。 ・ 木造住宅の供給が大手ハウスメーカーに集約される一方、零細の工務店や製材所の居場所が問われている。無垢の木の良さを表現できるのは我々の役割だと思うが、規格化された「木材」が果たして本来の価値を持っているのか、義憤を感じる。
パルプ・紙・紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷用紙が減少、新型コロナウイルスの影響を受けて低調に推移した。書籍など出版用途の堅調な動きも見られたが、感染が拡大している現状の中、今後の動向に不透明感が増している。
印刷・同関連業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で前年より売上げが減少している。競争入札案件は更に価格競争が激化し、採算の合わない価格となっている。 ・ 印刷資材の値上がりが続いているのに対し、印刷価格相場が上昇しておらず利益を圧迫している。
セメント・同製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高対前年比20%減少。明るい見通しが無い。来年度に期待したい。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前々月、前月と比較して自動車業界を中心として改善傾向にあるが、全年同月比では、依然として売上げ、収益状況はマイナスの状況が続いている。 ・ 業種によっては急激に回復しているが、総じて回復基調にはある。 ・ 雇用人数は増加しているが、収益には逆効果である。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北米及び中国案件の受注が増えていることから、親会社の状況は先の明るさが見えてきた感があるが、コロナ禍の中で情勢がどう変わるか不透明である。 ・ 1~2年先の相談案件はあるが、コロナ禍による当面の仕事量確保が難しく、売上げ減少による収益圧迫で赤字企業が増えてきている。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷蔵庫は引き続き大容量機種種の販売が好調であり、前年比では生産は大幅に伸びている。 ・ 家庭用エアコンは冬に入っても需要は堅調であり、生産も順調に推移している。業務用エアコンについても海外需要の増加に対して海外工場と連携して増産対応している。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先月同様、前年同月比は平均して80%ほど回復しているがこれ以上の回復が見込まれるかどうかその要因が見当たらない。 ・ 足元だけを見れば、夏以降生産も回復し売上げも伸びているが、新型コロナウイルスの収束の見通しが見つからないことから、先行き不透明の状況。 ・ 自動車部品関係にあつては、高水準で推移している。 ・ コロナ禍での外食、宿泊等サービス業の低調を危惧する一方、不要不急の会合は無くして、必要最小限の組合事業を行っている。 ・ コロナワクチンが国内接種が早くても令和3年6月以降と考えると、来年度事業計画、収支予算の立案も不確定要素が多く、予定としても基準の取り方が難しい。総会、理事会の開催も本年並みの工夫も必要かと思われる。 ・ 新型コロナウイルスの影響で厳しい年末となった。今後の見通しも不安要素が多く回復基調に転じるのは時間がかかると思われる。

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 12月としては過去最低の出荷量で、前年同月比16%減少し3ヶ月振りのマイナスとなった。ここに来て災害工事等公共工事関連が減少傾向にあり、先行きが厳しい。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> 忘年会の中止が相次いでおり、同様に新年会も取りやめが予想されることから、卸売業者は厳しい状況。一方、スーパー・小売店は堅調に推移するものと思われる。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス第3波の影響で非常に厳しい状況。 新型コロナウイルスの影響で、外出の自粛などで特に飲食店の夜の来店が少ない。クリスマスイベントは規模を縮小し、買上客先着400名までとした。街路灯にクリスマスバージョンの生花を装飾、26日から2021年1月15日までは正月バージョンの装飾を行う。 10月～11月は前年比を上回ったが、12月は状況が一転した。特に年末年始の客数は例年に比べ少なく、新型コロナウイルスの影響で帰省客・観光客が少なかったことが影響したと思われる。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> GoToトラベルの一時停止(12/28～1/11)により宿泊キャンセルが続出し、前年同月を大幅に減少する結果となった。GoToトラベルが宿泊施設及び観光関連施設の観光活性化を促すことが証明されていることから、早急なコロナウイルス感染防止対策による首都圏の感染者数の減少とGoToトラベルキャンペーンの再開を期待する。 12月は対前年を下回るものの、何とか前半の入込みで踏みとどまったが、1月以降の宿泊予約が停滞していることから、先行き不安な状況が続く。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で、契約解消、着工待機等の工事が出てきており次年度の決算に影響が出る可能性がある。 近隣の建築工事は減少しているが、中国の設備投資の増加により鉄スクラップ買取価格が上昇し、鉄筋価格も値上がりしている。
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスによる一時期の工事計画保留の影響が出始めており、新規案件の開始が滞っている状況。受注状況が厳しく一部では価格の下落が散見している。この状況は来年5月くらいまで続くことが予想される。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> 荷動きは、11月中旬までは順調であったが、12月に入り悪化した。これは、11月後半からの新型コロナウイルス感染拡大による、GoToイートとGoToトラベルの全国一斉停止が大きく影響していると思われる。現在検討されている1都3県による緊急事態宣言による影響を危惧している。
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス第3波、相次ぐクラスターの発生などの影響をまともに受け、11月の営業収支は10月と比較して10ポイント近く下回り、マイナス37.0%となった。 12月は、例年忘年会シーズンを迎え、年間を通して最も忙しい時期であるが、今年に限っては半分近くまで落ち込んでいるとの声も聞かれ、中には6割以上落ちているとの報告も受けている。 増加傾向にある家庭内感染、クラスターの発生、リモートワークによるタクシー利用者の減少に対する不安を抱えながら、車内の換気や消毒を実施するとともに、お客様には、マスクの着用、助手席への乗車や車内での会話を控えていただくなど協力をお願いしているところ。

4. 中央会・行政への要望

輸送用機械器具製造業より

・未曾有のコロナ禍を受けて、来年度事業計画、収支予算の立案についての不確定要素の範囲と影響をどのようにすればいいのかの判断基準などに迷走している。「未曾有だから情勢の改善次第」として最悪の状況を想定したもので「良し」とするのか中央会、行政庁の見解を伺いたい。

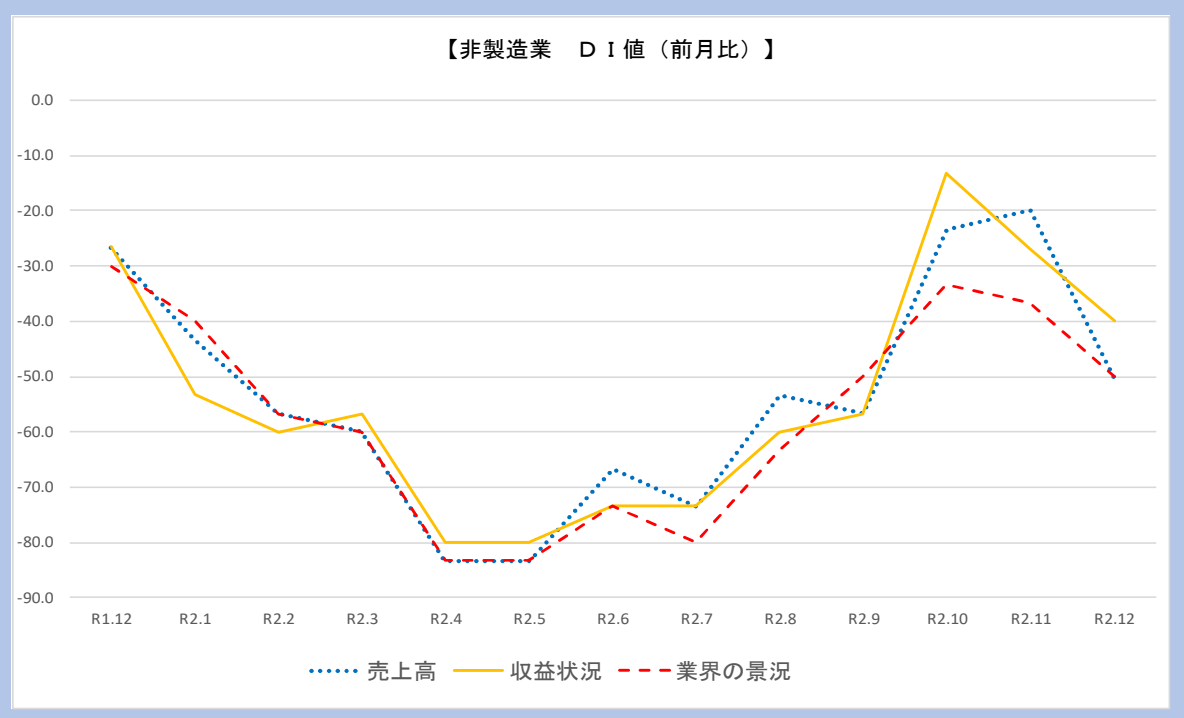
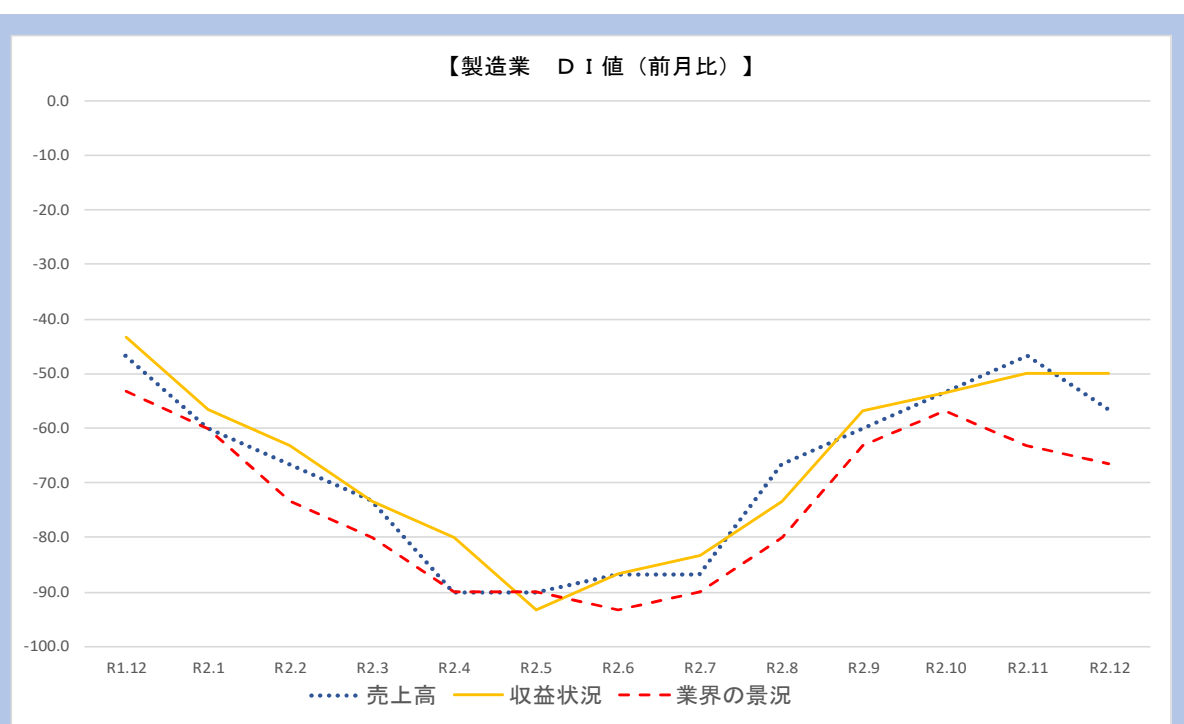
5. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2019年12月期～2020年12月期までの推移

全体	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12
売上高	-36.7	-51.7	-61.7	-66.7	-86.6	-86.7	-76.7	-80.0	-60.0	-58.4	-38.3	-33.3	-53.3
収益状況	-35.0	-55.0	-61.7	-65.0	-80.0	-86.7	-80.0	-78.3	-66.7	-56.7	-33.3	-38.3	-45.0
業界の景況	-41.6	-50.0	-65.0	-70.0	-86.7	-86.7	-83.3	-85.0	-7.7	-56.7	-45.0	-50.0	-58.3

製造業	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12
売上高	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7	-56.7
収益状況	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0	-50.0
業界の景況	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3	-66.6

非製造業	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12
売上高	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0	-50.0
収益状況	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7	-40.0
業界の景況	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6	-50.0



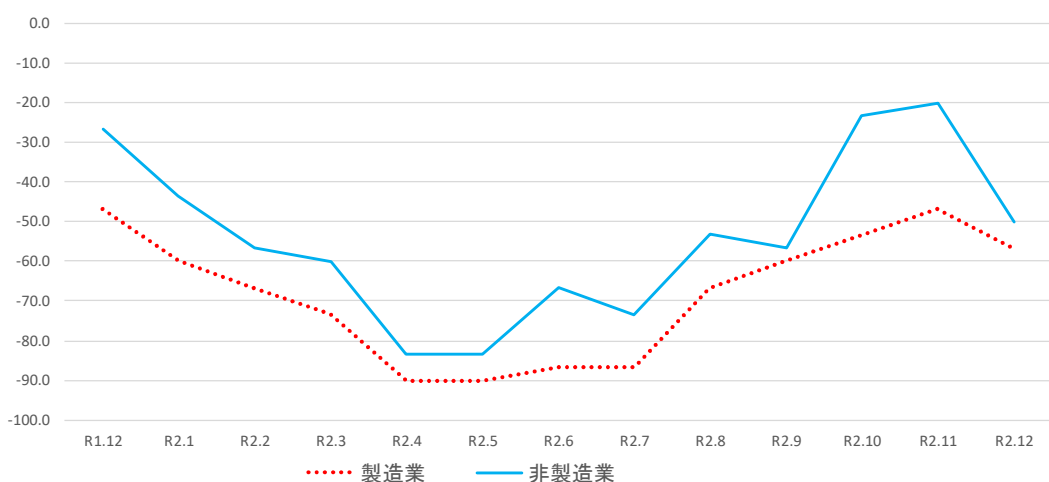
■ 2019年12月期～2020年12月期までの推移

売上高	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12
製造業	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7	-56.7
非製造業	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0	-50.0

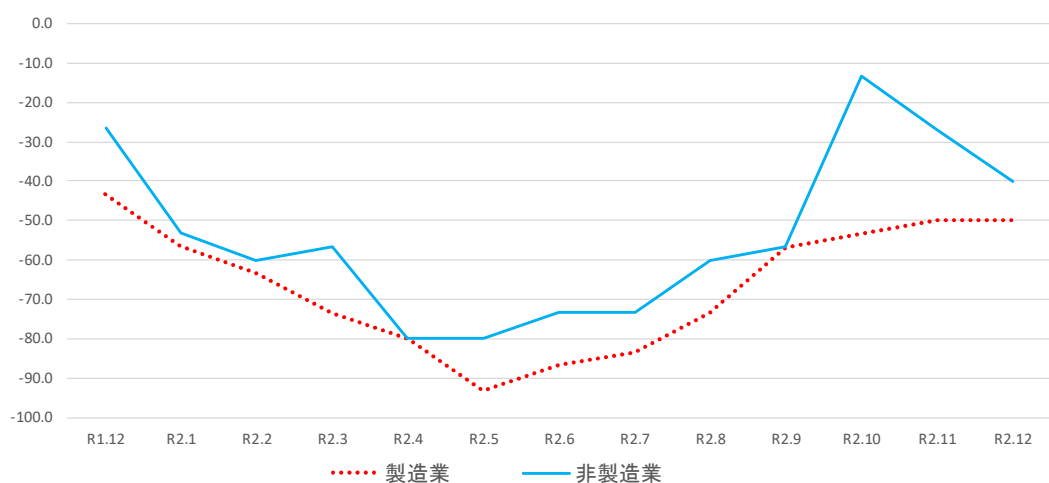
収益状況	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12
製造業	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0	-50.0
非製造業	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7	-40.0

業界の景況	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12
製造業	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3	-66.6
非製造業	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6	-50.0

【売上高／製造業と非製造業の比較 DI値（前月比）】



【収益状況／製造業と非製造業の比較 DI値（前月比）】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較DI値（前月比）】

